

ポーランドの治安情勢(2009年)

～6年ぶりに犯罪件数が増加、先行きは不透明～

- ・ 犯罪件数は6年ぶりに増加、検挙率(67.0%)は9年連続で上昇
- ・ 窃盗、強盗は横ばい、侵入盗は大幅増
- ・ 人種差別に起因する犯罪(外国人に対する暴行等)は僅か
- ・ 犯罪発生件数は日本の約2.2倍(人口10万人当たり)
- ・ 国外のポーランド権益のみならず、国内におけるテロの可能性は否定できず

類型別犯罪件数(2009年)と対前年比

殺人	763件	(前年比 +0.5%)
傷害	1万5,101件	(" +5.8%)
暴行	1万3,141件	(" -8.6%)
強姦	1,530件	(" -5.0%)
窃盗	21万1,691件	(" -1.3%)
強盗	2万6,458件	(" +1.1%)
侵入盗	13万5,383件	(" +9.1%)
薬物犯罪	6万8,288件	(" +19.0%)

- ・ 2009年の犯罪発生件数は112万9,577件、前年より約4万7,500件増加(+4.4%)
- ・ 2004年以降は減少傾向が続いていたものの、6年ぶりに増加
- ・ 殺人、強盗といった凶悪犯罪は微増、侵入盗、薬物犯罪は大幅増
- ・ 全体に占める少年犯罪の割合は増加傾向

日本との比較	ポーランド(2009年)	日本(2009年)
人口	約3,814万人	約1億2,750万人
犯罪認知件数	112万9,577件	170万3,044件
10万人当たりの犯罪件数	約2,960件	約1,336件

- ・ ポーランドと日本の人口比率1対3.3に対し、犯罪件数比率は1対1.5
- ・ 人口10万人当たりの犯罪件数は、日本の約2.2倍(殺人2倍、強盗17倍、侵入盗3.1倍)

テロ概要

- ・ テロ組織、反政府組織及びその関連組織は把握されていない。
- ・ イスラム過激派によるテロの温床(テロリスト予備軍、支援組織)になりうるイスラム・コミュニティの規模が小さい(数万人。仏は500万人、独は300万人とも)。

しかし...

- ・ アル・カーイダの声明で攻撃対象と名指し(2003年、2004年)
- ・ 親米路線をとり、イラク(撤退済み)、アフガニスタンに軍隊を派遣(パキスタンでポーランド人技師がタリバンに殺害される事件発生(2009年2月))
- ・ 比較的入国が容易(特にEU加盟国側から)

国内でのテロの可能性否定できず